

「語いもんそ」

Vol.12 平成21年12月25日発行

この通信誌は、宝山ホールで活動されているボランティアスタッフによって発行されています。

文化庁「地域文化芸術振興プラン」

=かごしまバレエフェスタ=

松山バレエ団『くるみ割り人形』全幕

鹿児島公演

10月29日(木) 宝山ホール



主人公の少女を通して、人間精神の美しさと、「信頼」の大切さを教えてくれたこの公演は、多くのご家族連れのお客様に感動を与えてくれました。



お客様に感想をお聞きしました。

追立とも子様(鹿児島市原良町)

「バレエを観るのは初めてで、鹿児島で観ることができ幸せです。バレリーナの衣装が華やかで、そ

して物語の展開もすばらしくて感動しました。一流の公演にもかかわらず、チケット代が安く有難いと思いました。」と感想を話して下さいました。

**松山バレエ団『くるみ割り人形』公演記念
宝山ホールオリジナルスイーツ(写真)**



お芋のケーキで今回限定のスイーツということもあり、公演記念に買い求めるお客様が多く、担当のボランティアスタッフも、明るく元気に販売しました。

おはら祭り関連イベント

秋の夕べ

かがり火コンサート

11月3日(火・祝) 黎明館 前庭

入口から前庭まで、竹とうろうで導かれた会場はかがり火が灯され、幻想的な雰囲気の中、誰でも一度は口ずさんだことのある唱歌や昭和の名曲などソプラノ歌手の久野真理香さんの歌で始まり、鹿児島古来の楽器である薩摩琵琶と天吹の演奏、そしてフルートとハーブの「篤姫のメインテーマ」・映画「千と千尋の神隠し」等の演奏、最後にシャンソンの名

曲が披露され大勢のお客様にとって大満足のコンサートになりました。



クラシック音楽と日本舞踊のコラボレーション。
弦楽五重奏やオペラのアリアをバックに日本舞踊が舞う舞台に、満員のお客様はその素晴らしさに感動されていました。



(ハープ/安楽聡子さん、フルート/村尾智美さん)

大人気の宝山スイーツは、ここでも大好評です。今日は屋外で、夕方から夜の販売になりましたが、スイーツ担当者は寒さに負けず頑張りました。



日本舞踊公演

弦楽五重奏で舞う日本舞踊への誘い

クラシック音楽と日本舞踊の 新たな出会い

11月15日(日) 宝山ホール



公演終了直後のソプラノ歌手 福富貴子さん

お客様に感想をお聞きしました。

山元節子様(鹿児島市鴨池町)

「クラシック音楽と日本舞踊の新たな出会いと聞いても舞台のイメージがわからないまま当日を迎えました。ところが開幕早々のオペラ『蝶々夫人』でオペラと日本舞踊の見事なコラボレーションに圧倒されたのです。更に日本歌曲と日本舞踊の群舞では懐かしさと暖かさがじんわりと胸にしみてきました。この新しい試みは多くの人に、これまでご縁のなかったクラシックや日本舞踊に関心をもっていただけるすばらしい企画だったのではないかと感じました。弦楽五重奏もテノールの田中英明さんも素晴らしかったです。何よりソプラノの福富貴子さんの圧倒的な声量と、微笑を絶やさぬ姿勢に心打たれました。地元のみならず、日本の中央、更に世界に羽ばたいて行かれるのではないのでしょうか、もしそうなったら鹿児島が少し寂しくなりますが。」

岩崎志登美様(鹿児島市皇徳寺台)

「枕崎の友人とききました。クラシック音楽と日本舞踊の組み合わせに最初はどうかと思ってい

ましたが、始まってみるとどんどん舞台にすいよせられ何の違和感もなく感心しました。踊るということは足腰が丈夫でなければできないと、しなやかな表現力をみてそう思いました。」

古川加代子様（鹿児島市中山）

「構成がとても良く、涙が出るほど感動いたしました。日本の心が表現されていました。」



（写真右・岩崎志登美さん） （写真・古川加代子さん）

今回の公演ボランティアスタッフの皆様です。



受付・クローク・ドア管理・当日券売り等を担当クロークを担当した森地さんと、田中さんは忙しい中でも素敵なお花いっぱいの香りに包まれ幸せな時間を過ごすことができました。

受付を担当した岩川さんは、「今日のお客様は文化を愛する人らしくとてもマナーが良く、学ぶことがいろいろあり、スタッフの仕事をさせていただき良かったと思いました。」と今日の感想を語られました。

宝塚歌劇雪組公演

12月5日(土)・6日(日)昼夜4公演 宝山ホール



開場時間前から、宝塚歌劇ファンのお客様で長蛇の列になりました。

第1部 ミュージカル・ロマン 情熱のバルセロナ

19世紀中期のスペインのバルセロナ公国を舞台にした青春ドラマで、悲恋と愛を描いたミュージカル

第2部 ラテン・ロマンチカ（リオデブラボー） RIO DE BRAVO!!

リオに生きる人々の喜びや哀歓を色彩豊かに表現したロマンティックなラテンショー



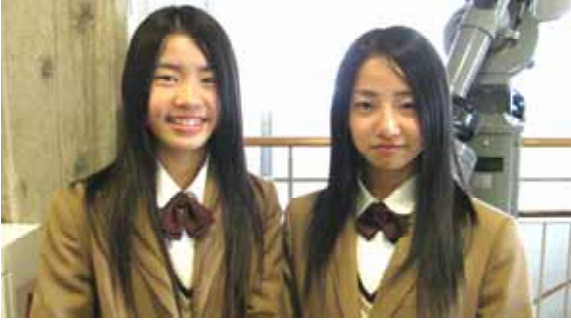
2年ぶりの宝塚歌劇とあって、4公演とも熱心なファンでホールはいっぱいになり、夢と感動を与えてくれました。

お客様に感想をお聞きしました。

福田様、國貞様（宮崎市）

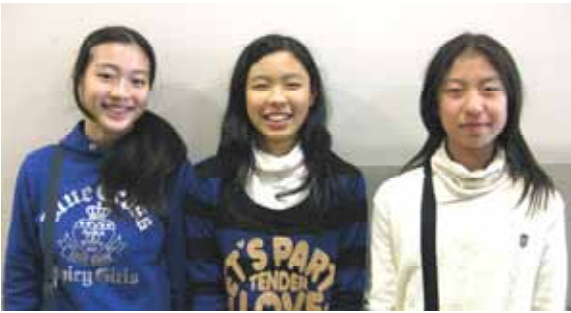
「公演を観て感動しました。とてもカッコよくてあこがれました。バレエ教室の先輩である、舞咲りんさんが出演していて、その素晴らしさにすごい先輩だと思いました。フィナーレでは、先輩が宮崎の出身と紹介があり、夢中で舞咲りんと書いた団扇を振

りました。」と興奮が残ったままお二人は話して下さいました。



(写真左/福田愛美さん、右/國貞彩花さん)

今村様、福村様、日高様(宮崎市バレエ教室の仲間)
「インパクトが強くて感動しました、歌と踊りが良かった、このまま残り夜公演も観たい、宝塚歌劇は夢と憧れですね、先輩(舞咲りんさん)のようになりたい。」



(左/今村しずくさん、中央/福村沙紀さん、右/日高夏海さん)

田中直子様(鹿屋市)
「大の宝塚ファンで2年前の公演にも来ました。普段はビデオで見っていますが本物は迫力が違います。華やかで表情も豊かで、激しい動きの息切れの中でも歌はすばらしく、普通の人ではできそうもないことをやってのけるすばらしさに感動しました。毎年公演があって欲しいです。」と期待をこめて話して下さいました。

清山美千代様(大崎町)
「舞台物が好きで、今まで色々な公演を観てきましたが、2ヶ月前に宝塚大劇場に公演を観に行き、その素晴らしさにはまってしまいました。今日の舞台は大劇場より狭かったが、主役のスタイルが美しく、役柄のこなし方も上手で、全てに華やかな香りがただよってくるようでした。次回も必ず観に来ます」と満足そうに話して下さいました。

益田加奈子様(マスタ・モダンバレエ・アート主宰)
宝塚歌劇雪組の舞咲りんさんが通ったバレエ教室を宮崎で主宰されている益田先生は、「舞咲りんはうちの教室時代から輝いていました」と話して下さい、開場時間直前まで宮崎から引率してきた教え子の為に入場券の準備、面会の手配などに一生懸命走り回り、汗をかいておられる姿に先生のお人柄を感じました。



(マスタ・モダンバレエ・アート教室の皆さん)

豊留美恵子様(鹿児島市鴨池町)
「日頃、どれだけの練習をこなしたらあんなに素敵な身のこなしができるのだろう、と思った。歌も踊りも人間はここまでできるんだ、と感心した。男は男らしく女は女らしく、そう感じさせてくれるものだった。夢の中の世界かもしれないけれども、夢をみる価値は十分あるものだったと思う。いつまでも夢を与え続けてもらいたいと思う、なくしてはならない財産だと思う。」

《今回の取材担当》

取材記事 広報ボランティア 鮫島尚武
広報ボランティア 二川道子
広報ボランティア 松尾安男
広報ボランティア 徳留美亨
撮影・取材記事 広報ボランティア 四十住孝行

宝山ホール広報ボランティア「語りもんそ」編集部
〒892-0816 鹿児島市山下町 5-3 宝山ホール
TEL099-223-4221 FAX099-223-2503